

登壇者プロフィール¹

司会



櫻田 彩子

エコアナウンサー®

1998年から8年間テレビ番組で天気中継を担当、気候変動を肌で感じ、危機感を抱く。エコロジーと持続可能な社会のためのエコノミーを応援するエコアナウンサーとして活動。気候変動やサステナビリティ、SDGsなどに関わるNPO/NGOの活動に参画。将来世代のため、今を生きる私たちのための活動を意識し、気候危機やSDGsなど環境関連のシンポジウム等の司会やファシリテーター、大学でのゲスト講師、小学生～80代の方を対象にした講座の講師を担当。

東北大学大学院経済学研究科現代応用科学博士課程前期修了 経営学修士

認定NPO法人 気候ネットワーク 理事

一般社団法人 Think the Earth 理事 SDGs for school 認定エデュケーター

特定非営利活動法人 サステナビリティ日本フォーラム 運営委員/事務局次長

¹ 講演順に記載しています。

開会挨拶



澤井 智毅

WIPO 日本事務所 所長

特許庁審査第一部長、審査第二部長、調整課長、国際課長、情報技術企画室長、知的財産研究所ワシントン事務所長（JETRO ニューヨーク知財部長兼務）、審査官、審判官等を歴任し、2019年より現職。特許庁では、特許制度改革、意匠制度改革、審査対策、審査基準改定、国際制度調和等を推進。現職にて、知財制度の普及啓発や日本政府、産業界、大学等との連携に注力。日本商工会議所知的財産専門委員会学識委員。監修「大人は知らない、今ない仕事図鑑100」（講談社、2020）、監修「SDGsでわかる 今ない仕事図鑑ハイパー自分の才能発見ブック」（講談社、2021）、著作「米国発明法とその背景～19世紀以来の特許制度改革～」（経済産業調査会、2012）等

持続可能な未来



José Graça Aranha

WIPO/国連 SDGs 特別顧問

弁護士及び法学教授。世界知的所有権機関 (WIPO) /国連 SDGs 特別顧問。

ブラジル・リオデジャネイロのカンディド・メンデス法科大学院で法学士号、米国・ニューハンプシャー州コンコルドのフランクリン・ピアース・ロー・センターで法学修士号 (LL.M.学位) を取得。

1993 年 5 月より WIPO にて開発協力セクターや国際登録部門を歴任。

1999 年 7 月には、ブラジル・リオデジャネイロでブラジル特許庁 (INPI) 長官に就任。

2004 年 1 月に 情報プロモーション課の課長として WIPO に復帰し、2006 年に国際登録部門の上級課長に就任。2009 年には、ブラジルに WIPO の外部事務所を設立し、地域部長に就任。

商標の国際登録に関するマドリッド議定書に関する著書や、公共政策、貿易、知的財産関連の問題に関する記事等を執筆。

1993 年の WIPO 参加以前は、リオデジャネイロにおいて特許及び商標の専門弁護士、ブラジリアの科学技術省において戦略問題のコーディネーターを歴任。

エネルギー市場の動向



Mark Cohen 氏, Principal Consultant
Energy Industrial and Chemical, Sagentia Innovation

マークは、Sagentia Innovation 社の応用科学実習のプリンシパルコンサルタントであり、テクノロジー、イノベーション、知的財産の戦略的マネジメントにおける 30 年以上の経験を持つ。マークは、外科、クリティカルケア、食品・飲料、エネルギー等のさまざまな分野で活躍している。マークは 2016 年以降、IAM Strategy 300 で世界のトップ IP ストラテジストの一人に選ばれている。



Michele Turitto 氏, Managing Partner
Energy Industrial and Chemical, Sagentia Innovation

ミケーレは、Sagentia Innovation 社のエネルギー、産業、化学分野のマネージング・パートナーである。彼は、20 年以上、グローバル企業に対して、革新的技術に関連する価値を最大化し、長期的な競争優位性を獲得するためのアドバイスをしてきた。ミケーレは、地理的にも文化的にも精通しており、ヨーロッパ、中東、北米、アジアの 15 カ国以上でプロジェクトを牽引してきたことから、あらゆるレベルの人々を巻き込み、ステップチェンジ・イノベーションを定着させる能力があるといえる。

WIPO GREEN10 年間の歩み



Rishab Raturi

WIPO/Associate Programme Officer, Global Challenges Division, Global Challenges and Partnerships Sector, WIPO

WIPO の Global Challenges 部門でアソシエート・プログラム・オフィサーを務め、イノベーションを中心に気候変動、食料安全保障、グローバルヘルス関連の問題に携わる。以前は WTO にて弁護士として、貿易と持続可能性に関する交渉に従事。また、国連貿易開発会議（UNCTAD）では電子商取引とデジタル経済の専門家でもあったほか、これまで経営コンサルティングや学術界でも活躍。

特別講演：脱炭素社会実現に向けた水素エネルギーの現状と将来展望



佐々木 一成氏

国立大学法人九州大学 副学長・主幹教授

1965年京都生まれ。1987年東京工業大学工学部無機材料工学科卒業。1989年東京工業大学大学院理工学研究科原子核工学専攻修士課程修了。1993年スイス連邦工科大学チューリッヒ校工学博士号取得。1995年ドイツ・マックスプランク固体研究所招聘客員研究員。10年間の在欧後、1999年九州大学大学院総合理工学研究科・助教授。2005年より工学研究院・教授。2011年、主幹教授。現在、九州大学副学長（産学官民連携、研究教育推進（エネルギー・脱炭素）担当）、水素エネルギー国際研究センター長、次世代燃料電池産学連携研究センター長。主に、燃料電池などの材料・プロセス研究に従事し、九大「水素プロジェクト」を先導。総合資源エネルギー調査会 水素政策小委員会委員長、アンモニア等脱炭素燃料政策小委員会委員長。

持続可能な投資



Shani Zanescu 氏

Climate tech Investor & Co-founder/Chair PLANETech

シャニ・ザネスクは、環境技術の初期段階の投資家であり、同分野の複数の新興企業やベンチャー企業の取締役会メンバーおよびアドバイザーを務めています。シャニは、PLANETech の共同創設者兼会長でもあります。PLANETech は、先端技術と国際的な協力を通じて、創設者、新興企業、投資家、企業、政府、学界を結集させ、最善の方法で気候変動の課題に対処できるようにすることで、イスラエルの環境技術エコシステムを主導する非営利団体です。

シャニは外交と事業開発の経験があります。彼女はテルアビブ大学のエグゼクティブプログラムで外交と国家安全保障の修士号を取得し、米国のテキサスクリスチャン大学でコミュニケーション及びビジネスの理学士号を取得しています。

また、Forbes 誌の「イスラエルにおける“世界を変える 30 歳未満の 30 人”」及び「イスラエルの技術分野で最も影響力のある気候変動問題に関わる 12 人の人物」としても認められました。

特別対談：知財戦略を俯瞰する企業戦略



山本 雅史氏

ダイキン工業株式会社 法務・コンプライアンス・知財センター
企業倫理、コンプライアンス、法務、知財、情報セキュリティ担当執行役員

学歴 1981年 3月 東京大学 法学部 私法コース

社内歴

- 2014年 9月 1日 ダイキン工業株式会社 入社
法務・コンプライアンス・知財センター 担当部長
- 2015年 6月 26日 ダイキン工業株式会社 執行役員 就任
企業倫理、コンプライアンス、法務、知財担当
- 2016年 6月 29日 ダイキン工業株式会社 執行役員
CSR、地球環境、企業倫理、コンプライアンス、法務、知財担当
- 2018年 6月 28日 ダイキン工業株式会社 執行役員
CSR、地球環境、企業倫理、コンプライアンス、法務、知財、
情報セキュリティ担当
- 2020年 6月 26日 ダイキン工業株式会社 執行役員**
企業倫理、コンプライアンス、法務、知財、情報セキュリティ担当 (現職)

- 社外歴
- 1981年 4月 通商産業省 入省
 - 1991年 4月 外務省 在メキシコ日本国大使館 一等書記官
 - 1995年 6月 特許庁 工業所有権制度改正審議室長
 - 1999年 8月 内閣法制局 第四部 参事官
 - 2004年 6月 中小企業庁 事業環境部 企画課長
 - 2006年 6月 特許庁 総務課長
 - 2007年 7月 内閣官房 知的財産戦略事務局 参事官
 - 2008年 7月 北海道経済産業局長
 - 2009年 7月 特許庁 総務部長
 - 2011年 6月 日本政策金融公庫 取締役
 - 2013年 4月 中部経済産業局長